

# つなぎあつて元気に

14

2009年 新年号

## 平山光子後援会

### 事務所

大牟田市原山町1-5  
0944-53-1661

### 自宅

大牟田市倉永1651  
0944-58-1252

### メールアドレス

mitsuko2007@tng.bbq.jp

### ホームページ

www.hirayama-mitsukonet



## あけまして

## おめでとう

## ございます



旧年中はお世話になりました  
今年も温かいご支援・ご鞭撻を  
どうぞよろしくお願い致します

平山 光子

二〇〇九年、混迷の中で五年が  
明けました。

昨年は、アメリカ発の金融危機に巻  
き込まれ、日本経済は大変なことにな  
りました。自動車や半導体など、外需  
頼みの産業構造の今後は？雇用は？生  
活は？子どもたちの未来は？・・様々  
な不安でいっぱいになります。

しかし、過去の歴史をふり返るとい  
つても大きな混乱期を経て新たな時代が  
到来しました。ピンチはチャンスに！

将来、今日の混乱も、「大企業の論理  
で進められたグローバル化と市場万能  
主義、競争格差社会」から「地域社会  
を育てる産業構造、一人ひとりが大切  
にされる社会」に大きく転換していく  
きっかけになった、とふり返る日がき  
つとくることでしょう。

生活者が主役、政治に市民の声が届  
き身近なところで政策が決められる真  
の地方分権社会を実現していくことが  
必要です。

政治の流れが大きく変わった、そん  
な新しい歴史のスタートの  
年になってほしいものです。



議員の方から年賀状等の挨拶状を  
お送りすることは公職選挙法で禁止  
（手書きの返礼は可）とされていま  
す。  
後援会便りの紙面をお借りし、新  
年のご挨拶とさせていただきます。  
ご理解いただきありがとうございます。  
たします。

## 十二月議会終わる

）新たな市民負担増も・・・

十億円にも上る累積赤字を2011年  
度までに一掃するという厳しい財政健全  
化計画案には新たな市民負担増が盛り込  
まれ、多くの議員から見直しの意見が出  
されていたにも関わらず、そのまま今議  
会で条例が提案されました。

3年という計画自体が無理すぎる、特  
に、まだ全国でもあまり例がない軽自動  
車税を3割上げるとは（それにより市  
税が6300万円増）相次ぐ物価高騰や  
不景気の中で市民生活を圧迫するばかり  
でなく、市のイメージを悪くするマイナ  
ス効果、見直すべきではないかとの質問  
・意見が相次ぎました。

護憲クラブとしては、2割の下方修正  
に賛同可決しましたが、「反対否決とした  
いところ、本市の厳しい財政状況の中で  
健全化の道筋は示さなければならぬ、  
市長は譲らない、妥協点があるか、妥協  
があるのか・・・」等、侃々諤々の議論の  
末の苦渋の選択でした。ご理解ください。  
（議会の詳細は県政・市政報告会、護憲  
ニュース・平山ホームページなどで。）

# 光子の部屋 2009 新年号

## 2008年の活動から

### 地方分権・まちづくり

8月27日～29日 自治体政策講座(横浜)



地方議会とまちづくり、地方議員の役割、変わる国と地方の関係、諸外国のシステムなどを学びました。

10月15日～16日

### 市議会議長会研究フォーラム(釧路)

分権改革が進むための、自治体のあり方や議会・議員の役割が問われています。今後、行政も議員も市民も意識改革が必要です。



明治憲法には地方自治に関する規定はありませんでしたが、国民主権が謳われた現憲法には第八章に地方自治が規定されています。しかし、戦後も地方の自治が十分行われてきたとは言えず、地方は国の組織の一部という位置づけで多くの仕事をしてきました。(機関委任事務) 2000年の分権改革では機関委任事務は廃止され、自治体の仕事は自治事務と法定受託事務に整理されました。地域の実態を無視した画一的な行政システムは財政的にも維持できなくなってきたのです。

2007年には地方分権改革推進法が施行され、第二期地方分権改革が進みつつあります。今後、真の地方分権社会の構築のために、地方への財源の委譲、規制の見直し等が必要です。また、しっかりと住民の声が反映されるためのしくみ作り(地方議会のあり方)や市民力(市民意識の向上)が問われることとなります。

### 平和・人権

8月8日～9日 長崎原水禁大会参加



第一分科会では、核兵器廃絶を目指すPTC(核不拡散条約)2010年の再検討会議での日本の役割の重要性について論議されました。

8月18日 朗読「夏の雲は忘れない」大牟田公演

「この子たちの夏」として続いてきた女優さんによる原爆詩の朗読公演です。スタッフとしてお手伝いさせていただきました。



9月27日 アイ女性会議大牟田祭(学習会)

今こそみんなで考えよう 平和・教育  
～戦後63年 平和が危ない～  
のテーマで、学校現場の現状を話しました。  
(詳しくはホームページの活動報告に)

2007年の国民投票法の制定、教科書検定問題(沖縄戦での集団自決への軍の関与はなかったという検定意見)、昨年になり、宇宙開発を平和利用以外にも認めるという宇宙基本法の改定、アメリカ原子力空母「ジョージ・ワシントン」の横須賀への母港化、「侵略国家というのはぬれぎぬ」という史実を無視した田母神前航空幕僚長論文問題等、非核や平和を危うくする声が次第に大きくなってきていることがとても心配です。平和の願いを次世代にしっかりと伝えていくことがますます重要になってきていると思います。

## 県政・市政報告会 1月31日(土) 午前10時～12時 吉野地区公民館

小野市議と古庄市議が12月議会報告、平山が教育問題特別報告をする予定です。  
どなたでも自由にご参加いただけます。ご出席をお待ちしております。

# つなぎあつて元気に

15

2009年 新年号

## 2008年の活動から 男女共同参画社会の実現

人権の観点から、また、社会の要請からも男女共同参画社会の実現が目指されています。基本法が制定されて8年、大牟田市も2006年に条例を施行しました。しかし、女性の管理職や審議会等の委員の登用率にも表れているように、市の取り組みが進んでいるとは思われません。今回推進プランの改訂に当たって公募されたパブリックコメントにも、制度の意義について理解が進んでいないことが表れていました。

市民意識の啓発、推進体制の充実、事業者や教育に携わる者などの責務の自覚と取り組みの強化等、課題が多いことを痛感させられます。

議員二年目の二〇〇八年、皆様方に温かいご支援をいただき元気に活動できたことに感謝しております。九月議会では質問の機会をいただき、「まちづくり」と「教育問題」取り上げました。(前号で報告) また、十月の決算特別委員会では副委員長という重責を経験させていただきました。研究フォーラムや視察など学習の機会もたくさんいただきました。その中から今回四つのテーマ(平和・人権、地方分権のまちづくり、男女共同参画社会の実現、教育の問題)で報告をしています。



### 10月20日 議員との交流会



「男女共同参画を実現する会」の主催で、各会派から議員が一人づつ参加して考えを交流しました。男女共同参画の学習会では、毎回、男性や若い世代の参加がありません。それが今後の課題だと思われま

### 11月23日 県男女共同参画フォーラム

今年も県下からたくさんの方が集い、パネラーからは自治体や職場の課題が報告されました。



### 12月6日 人権問題交流会

「男女共同参画で大きく伸びよ大牟田市」という題で、県の榎木(ちしゃき)先生が講演されました。

女性の社会進出にも増して、日本男性の家庭進出が遅れていること、法律があっても意識が変わらないと社会は変わらないこと、変えようとする人と差別される人、差別する人は変わるきっかけがあるが、無関心と傍観者の意識改革が進まないこと等を話されました。



### 平山光子後援会

#### 事務所

大牟田市原山町1-5  
0944-53-1661

#### 自宅

大牟田市倉永1651  
0944-58-1252

#### メールアドレス

mitsuko2007@tng.bbq.jp

#### ホームページ

www.hirayama-mitsukonet

# 光子の部屋

2009 新年号

## 2008年の活動から

### 教育の問題

5月28日 福退教支部総会 6月21日 福教組支部総会



ますますお元気な福退教の先生方、支部の平均年齢は80歳だそうです。

現職は組織率の低下と共に、管理化多忙化が一層進み、先生方は疲れ切っています。

10月4日 福教組フェスタ（遠賀・中間）

県下各地から現場の先生方やそのご家族が集うお祭りです。各支部の出し物で盛り上がります。

今年の大牟田支部の出し物は絶叫大会、熱い思いをぶつけました。楽しみいっぱい、元気が出ます。来年は是非先生もご家族と一緒に参加しませんか！



11月8日 県教育研究集会（北九州）

県下の先生方が年一回実践を持ち寄り研究を深めています。全国教育研究集会の報告者も決まります。戦後ずっと続き、その現場の実践の中から今教科書に載せられている優れた実践がたくさん生まれてきました。昨年度、東京で開催された全国教育研究集会はプリンスホテルが直前に会場を貸さないというとんでもない事態が起きました。

11月10日～12日 教育厚生委員会視察（犬山市教育委員会が進める学び合いの教育など）

11月20日～22日 会派視察（宇都宮市 複式学級を解消する小規模特認校制度など）

独自で少人数指導や教育条件の充実などに取り組む自治体が増えています。視察では、そんな現場を見ていただくよう提案してきました。財政力によって教育環境に大きく差が生まれ格差が広がっていることは大きな問題です。国の施策として未来を担う子ども達の教育条件をしっかりと充実すべきです。

様々な場で現場の先生方の切実な声を繰り返し届けてきました。今年度になって、子どもたちの机や椅子、特別支援教育支援員の配置が進みました。法律に則って時間外勤務時間の把握にも努めるようになりました。しかし、毎年教育予算も削減される中、教職員に新たな負担が増え現場の多忙は一向に改善されていません。教育関連法や指導要領の改定により、今後ますます現場の管理化が進み協働体制が壊され、子どもたちは点数による競争に追い込まれ、学校の荒廃が進むのではないかと危惧します。本当に必要な学力は何なのかや、これまでの制度改革の問題点をきちんと検証し、日本の教育の根幹を再構築することがなくては 学校の抱える悩みは解決できないと思うのですが・・・